

第20回

# 子ども安全の日の集い

毎月17日は『子ども安全の日』

平成16年11月に奈良市で発生した小学生女児誘拐殺害事件から20年が経過しようとしています。事件直後より、子どもたちの安全対策が喫緊の課題となり、全国各地で様々な取組が開始されました。この集いは、二度とこのような事件を起こさせないことを誓い、「地域の子どもは地域で守る」取組を行っている大人たちの意識を高め合い、そして、子どもたちに「自分の命は自分で守る」ための「危険予測・回避能力」を身につけさせるために考え、行動するための機会とします。

令和6年

11月17日(日)

10:00 から 12:00  
(受付 9:30から)

奈良市二条大路南一丁目1番1号  
奈良市役所 6階 正庁

新大宮駅より西方向徒歩11分

第1部  
開会行事

10:00~10:20

- ・ 黙祷
- ・ 主催者挨拶
- ・ 来賓挨拶

第2部  
パネル  
ディスカッション

10:25~11:55

【テーマ】

『教訓を継承し、子どもたちを犯罪から守るために  
～それぞれの立場から一人ひとりができること～』

ファシリテーター

奈良学園大学 教授 松井 典夫 氏

閉会行事

11:55~12:00

- ・ 閉会挨拶

※教職員、少年指導委員、地域の皆様、保護者の皆様  
など、幅広く参加いただくことが可能です。

ライブ配信は  
こちらから



主催  
後援

奈良市・奈良市教育委員会  
奈良警察署・奈良西警察署・天理警察署・奈良市自治連合会  
奈良市少年指導協議会・奈良市PTA連合会・奈良市立学校長会

## 「なら子ども安全宣言」～私たちにできること～

私たちは、地域の方々、青バトさんや家族に守られて、今こうして安全に生活することができています。

私たち、奈良市の児童生徒は、

- 一、「11月17日」を命の尊さについて考え、安全な生活を送ることの大切さを感じる日とします。
- 一、多くの大人の皆さんに見守られていることへの感謝を忘れず、私たちにできることを考え、行動します。

わたしたちは、小学生として、

- 一、自分の命を自分で守ることができるように、いつも心がけて行動します。
- 一、見守ってくださっているみなさんに感謝し、気持ちをこめてあいさつをします。
- 一、自分たちだけでなく、まわりの人たちもこわい思いや悲しい思いをさせないように、思いやりをもって行動します。

私たちは、中学生として、

- 一、一人一人の命と心を大切に、安全について話し合ったり考えたりする時間を持ちます。
- 一、交通ルールを守り、自分の身は自分で守ることができるように、普段の生活から安全を意識し行動します。
- 一、見守りがあることに感謝し、頼られる立場となるように、地域の行事へ積極的に参加します。

私たちは、高校生として、

- 一、正しく判断し自らの安全を守り、一人一人が周りを思いやっこ生まれる「安全」に貢献します。
- 一、「守られる側」から「守る側」となるため、交通規範意識を高く持ち、小中学生の模範となります。
- 一、安全を再認識するだけにとどまらず、市内の小中高등학교で連携し、安全意識を高める働きかけをします。

平成26年11月17日

「なら子ども安全宣言」作成ワーキンググループ

## 講師紹介

奈良学園大学 人間教育学部  
教授 松井 典夫 (まつい のりお) 氏



1969年生まれ。大阪教育大学大学院教育学研究科(修士課程)卒業 修士(教育学)  
大阪府公立小学校教員を経て、乱入殺傷事件で児童8人が犠牲になった大阪教育大学附属池田小学校に2005年から2014年まで勤務。同小の学校安全主任として、「安全科」創設とカリキュラム開発にかかわる。その後、2014年より奈良学園大学で教鞭をとる。

主著 「ながお先生と考える 学校安全36のナラティブ」(共著)教育出版 2014年  
「どうすれば子どもたちのいのちは守れるのか」ミネルヴァ書房 2017年  
「教師のための教育法規・教育行政入門」(共著)ミネルヴァ書房 2018年

「なら子どもサポートネット」  
に登録をお願いします

<https://supportnet.naracity.ed.jp>

〈QRコード〉

QRコードの読み取り機能付きの携帯電話をお使いの方は、右のQRコードを使ってトップ画面にアクセスすることができます。

